**No.1**

　年　　月　　日

 せたがやソーシャルビジネス支援補助金　事業提案書

世田谷区長　　あて

住 所

電話番号

名　称

代表者の役職及び氏名

 せたがやソーシャルビジネス支援補助金の交付を受けたいので、せたがやソーシャルビジネス支援補助金交付要綱第６条の規定により、下記のとおり関係書類を添えて提出します。

　　記

・事業提案計画書

・収支予算書

・誓約書

・登記簿謄本などの写し

・直近２期分の確定申告書類の写し

・納税証明書の写し

**No.2**

事業提案計画書

１．事業者概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | 　 | 代表者 | フリガナ | 　 |
| 名　　　称 | 　 | 氏 名 | 　 |
| 役 職 | 　 |
| 本社（本店）所 在 地 | 〒 | ＴＥＬ | -　　　　- |
| 　 |
| 事業者ＵＲＬ | 　 |
| 世田谷区内事業所所在地 | 〒 | ＴＥＬ | -　　　　- |
| 連 絡担　当　者 | フリガナ | 　 | 部署 | 　 |
| 氏 名 |  |
| 役職 | 　 |
| E-mail | 　 | ＴＥＬ | -　　　　- |
| 設立年月日※西暦で記入 | 　年　　　月　　　日 | 資本金 | 円 |
| 役員数 | 人（監査役を含む） | 常時使用する従業員数 | 人  |
| 業　　種（中分類等） |  |
| 代表者の経歴(学歴・職歴などご自由にご記入ください) |  |
| 事業内容 | パンフレットやHPを印刷したものでも可（様式自由） |
|  |

２. 提案事業計画書

※枠内に書ききれない場合は、枠を拡大して記載してください。

※図や写真、詳細な資料等を追加する場合、別紙に任意で作成し添付してください。企画書は、以下の項目を満たしていれば、任意の書式（PowerPointなど）での提出も可能です。ただし、添付資料も含め、Ａ４サイズとし、最大１０ページとします。

|  |
| --- |
| 事業のビジョン・理念 |
|  |
| 応募動機 |
|  |
| 事業概要 |
| ①地域課題及び社会課題への貢献に資する取組み・プロジェクトの名称 |
|  |
| ②事業テーマ（複数選択可） |
| 地域活性化・まちづくり　　／　　保健・医療・福祉　　／　　教育・人材育成環境保全　　／　　女性活躍推進　　／　　子育て支援　／　　若者の支援高齢者の支援　／　　障害者の支援　／　　観光　　／　　文化・芸術・芸能活動の保全・推進国際交流・国際協力　　／　　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ③事業内容 |
| ⅰ）事業実施地域（顧客・サービス利用者の範囲） |
| ⅱ）解決しようとする地域課題・社会課題 |
| ⅲ）事業実施地域の現状 |
| ⅳ）地域・社会課題解決と地域活性化に繋がる施策・事業の内容 |
| ⅴ）当該事業により実現する社会の姿、地域への貢献 |
| 事業実施体制 |
|  |
| 事業実施計画 |

|  |
| --- |
| ①設備等の配置計画 |
| 既存設備　　　有　・　無 | 設備投資　　　有　・　無 |
| 外注の有無　　有　・　無 | 臨時雇用者　　有　・　無　（　　　　　人） |
| ②本支援補助金以外の資金調達先（自己資金、補助金活用含む）・調達方法 |
|  |
| ③当該年度の目標（数値目標・行動目標） |
|  |
| ④当該年度のスケジュール（企画期間、事業開始時期、販路確保、広報計画等） |
| 年　　月 ～　　年　　月 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |
| --- |
| ⑤5年後の達成目標（数値目標・行動目標） |
|  |
| ⑥今後5年間の事業計画（事業展開、売上計画、販路、広報計画等） |
|  |

**No.3**

収支予算書

１　収入

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経　費　区　分 | 予　算　額 | 摘　要 |
| せたがやソーシャルビジネス支援補助金 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

２　支出

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 経　費　区　分 | 予　算　額 | 摘　要 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**No.4**

誓約書

当社は、下記事項について誓約します。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。せたがやソーシャルビジネス支援補助金に関する報告及び立入調査について、世田谷区から求められた場合には、それに応じるとともに、関係機関に照会することについて承諾します。

記

１　せたがやソーシャルビジネス支援補助金交付要綱第５条の事業提案をすることができる者に該当します。

２　法人等（法人又は団体をいう。）が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）でありません。法人等の役員等（法人である場合は役員又は支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、暴力団員（同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）でありません。

３　役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしていません。

４　役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していません。

５　役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有していません。

６　事業提案書及び添付書類の内容に偽りはありません。

年　　月　　日

世田谷区長　　あて

住 所

電話番号

名　称

代表者の役職及び氏名